



生徒が主体的に学び合う 双方向授業をつくり出す

授業支援クラウド「ロイロノート・スクール」

ロイロノート・スクールは双方向授業を実現する授業支援クラウドです。画面上のさまざまなデータをカードにして、資料のやりとり、思考の可視化、意見の共有、プレゼンテーション、学習履歴の蓄積を行うことができます。直感的に操作でき、小学校から大学まですべての授業で使えます。生徒が自ら考え表現する協働的な学び、個別最適化された学び、また遠隔での学習にも効果を発揮します。マルチプラットフォームに対応しており、1日200万人以上に利用されており、国内外約1万校に導入されています。



サービスのベネフィット

【双方向授業での学び合い】

- 教材データの配信、画面配信でペーパーレスの実現ができます。
- 提出データの共有により生徒同士の学び合いが促進されます。
- 画面上で提出物の回収・添削・編集ができます。
- 自動集計・自動採点できるテスト/アンケート作成ができます。
- テキスト、写真、音声、動画、Web、PDFなどのメディア編集が自由自在です。

【思考力・判断力・表現力の育成】

- カードをつなげるだけでプレゼンテーションができます。
- 学習履歴の蓄積ができます。
- デジタル思考ツールで思考を可視化、新しい考えをつくり出すことをサポートします。
- 協働学習で活用できます。

サービスのターゲットと効果

【教諭】

- 授業中の生徒とのインタラクションが増え、双方向授業が実現します（授業者）。
- 印刷などに要していた時間が短縮でき、授業準備が効率的にできるようになります（授業者）。
- 教材研修の時間をとれるようになることにより、授業改善がはかれます（授業者）。
- 全クラスの健康観察の集計にかかる時間を短縮できます（養護教諭）。

【生徒】

- 「考えること」「創造すること」に時間を使えることで、思考力・判断力・表現力の向上につながります。
- 自分のペースでの学習することができます。
- 授業で使用したすべての学習データをいつでも、見返すことができます。

**1年間の印刷費用が300万円以上コストダウン！
養護教諭が健康観察作業に要する時間が半日から20分に！**

サービスの利用事例

愛媛県松山市では、令和3年度2月から市内の小・中学校計82校、約38,000人の児童・生徒がロイロノート・スクールを活用しています。半数以上の学校で毎日利用されており、市内での活用が進んでいます。

学校での利用に加え、学校と家庭の学習をつなぐことを目的として、端末の持ち帰りも実施されています。利用者からは、学校・家庭での学習の充実、学習意欲の向上、欠席者や不登校生徒への対応に役立つ、教職員の働き方改革につながるなどの声が報告されています。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大の第6波の際にも、GIGA端末とロイロノート・スクールを活用することで、オンラインでの学習補償が効果的に行われました。

AWS 選定のポイント

- AWSの高い拡張性により、1日に200万人以上が利用するまでに急成長しましたが安定稼働を維持できました。